

令和3年度 授業改善推進プラン 理科

観点別			
学年	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
3年	<ul style="list-style-type: none"> 理科の用語や基本的な事項についてまとめ、知識の定着を図る。 自分の生活と結び付けて考えさせるようにする。 観察は、視点をもって継続的に行う。以前との変化を見つけながら観察させるようにする。 実験道具の正しい扱い方を理解し慣れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決学習を基本とし、観察や実験から予想したり考えたりする場を設定する。 自然の事物・現象の差異点や共通点に着目させたり比較させたりする。 実験・観察の結果を視覚的にわかりやすく表示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の疑問や予想を大切にし、主体的に学習が進められるよう計画する。 飼育・栽培の学習活動や実験などの体験活動を多く取り入れ、意欲や関心を高める。
4年	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識をしっかりと身に付けることができるよう、単元の終わりのまとめを丁寧に行い、知識の定着を図る。 自分の生活と関連付けて、自然現象の知識を深める。 栽培活動を継続し、その変化の比較観察を行う。観察の視点・観点を明示することで観察力を養う。 実験の手順を考えさせてから実験する。正しい実験器具の扱い方を繰り返し指導し、慣れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考える場を設定する。 観察や実験活動を通した問題解決型学習によって、科学的な見方や考え方を育てる。変化と原因を関連づけて考えるようにさせる。 「課題—予想—観察・実験—結果—考察—まとめ」という授業の流れで指導し、思考力を高める。 実験・観察の結果を折れ線グラフ・棒グラフ・表・回路図などで表す。また、起きた現象をモデル図に表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の疑問や予想を大切にし、主体的に学習が進められるよう計画する。 学習課題を明確にすることで、問題解決の意欲や関心を高める。 実験や観察の機会を増やし、科学に関心をもたせるようにする。 体験を通しての児童の気付きを大切にする。
5年	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察のまとめの時間を確保し、自分の言葉できちんとノートにまとめる。 児童相互の意見交換をし、今後の学習に活かせるように知識の定着を図る。 自分の生活と関連付けて考え、自然現象の知識を深める。 顕微鏡などの実験器具の使い方を確実に指導するとともに、授業で活用する機会を多くもたせ、使い方に習熟させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験活動を通した問題解決学習によって、科学的な見方や考え方を育てる。 実験を行う際に、「調べる条件」「そろえる条件」を明確にして計画を立て、条件に目をつけて実験を行うことができるようになる。 実験・観察の結果を折れ線グラフ・棒グラフ・表などで表し、そこから分かったことを文章で表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の導入や問題提示の仕方を工夫し、学習内容に興味・関心をもたせるようにする。 実験や観察などの体験やICTを活用して学ぶ機会を増やし、科学に関心をもたせるようにする。
6年	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験の後に、話し合ったり確かめたりする時間を確保し、確実に知識・理解の定着を図る。 ワークシートやプリントを活用し、基礎的・基本的な学習内容の復習を行い、理解の定着を図る。 気体検知管や各種の薬品など、実験で出てくる器具等については、教科書を活用し、正しい扱い方を確認する。 実験の結果だけでなく、過程に注目させ、記録をとるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象の変化や動きについて、実験や観察・調査を通して、その要因や規則性・関係を推論する能力を育てる。 実験・観察の結果を折れ線グラフ・棒グラフ・表・モデル図などで表し、科学的な思考力・表現力を育していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が自然現象に対して関心をもって学習を進めていくよう、単元の導入の工夫をする。 ICTや映像資料などを積極的に活用し、児童の興味を喚起する。 子どもの「なぜ？」を大切にしていく。